

2025年2月21日

株式会社Datachain

クロスチェーンブリッジ「TOKI」の本番環境における稼働開始について

株式会社Datachain(代表取締役: 久田哲史、以下Datachain)は、開発を支援するクロスチェーンブリッジ「TOKI」が本番環境での稼働を開始したことをお知らせいたします。「TOKI」は、異なるブロックチェーン間でのデジタル資産の交換を容易にするプロダクトであり、当社はその技術開発を担っています。

今回の稼働開始では、Ethereum(イーサリアム)とBNB Chain(ビーエヌビーチェーン)の接続を実現し、両ブロックチェーン間での資産移動が可能になりました。今後、対応するブロックチェーンをさらに拡大し、ユーザー数や取引量の増加に貢献していく予定です。また、「TOKI」の基盤となるブロックチェーン間のインターオペラビリティ技術は、当社が提供するステーブルコインを活用したクロスボーダー送金事業にも活用し、両事業の拡大を目指してまいります。



1. クロスチェーンブリッジ「TOKI」について

Datachainが開発を推進するクロスチェーンブリッジ「TOKI」は、異なるブロックチェーン間でのトークン交換を可能にするサービスです。現在、さまざまなブロックチェーンが存在する中で、安全かつ効率的に相互接続を実現するソリューションの重要性が高まっています。

「TOKI」は、このようなニーズに対応するため、IBC (Inter-Blockchain Communication) と呼ばれる、第三者の信頼を必要とせずにブロックチェーン間の通信を可能にするプロトコルを採用。さらに、独自開発のミドルウェアを組み合わせることで、より高いセキュリティを備えたクロスチェーンブリッジを実現しています。

サービスサイト: <https://toki.finance/>

2. クロスチェーンブリッジ「TOKI」の本番環境での稼働開始

このたび、「TOKI」はEthereumおよびBNB Chainという主要な2つのブロックチェーンのメインネット（本番環境）での稼働を開始しました。これにより、ユーザーは両ブロックチェーン間でデジタル資産の交換が可能となります。

3. 今後について

当社は、今後もクロスチェーンブリッジ「TOKI」のさらなる拡張に向けて開発を継続してまいります。具体的には、対応するブロックチェーンの拡大やサービスの改善を進めることで、ユーザー数や取引量の増加に貢献していく予定です。

また、「TOKI」にも活用されているブロックチェーン間のインターオペラビリティ技術は、当社のステーブルコインを活用したクロスボーダー送金事業のさらなる展開にも応用し、両事業の拡大を目指してまいります。

社 名 : 株式会社Datachain
代 表 者 : 代表取締役 久田 哲史
U R L : <https://datachain.jp/>

* 株式会社Datachainは、株式会社Speee（本社：東京都港区、代表取締役：大塚 英樹、東証スタンダード市場：4499）の子会社です。

* 本資料に記載されている会社名、商品名、サービス名は、各社の商標又は登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社Speee IR担当 : ir@speee.jp